

御所浦地域の現状

- 県平均を上回る人口減少・急速な高齢化
- 架橋事業の長期化による本土との社会的・経済的格差是正の遅れ

目標

- 架橋事業の長期化に伴い、離島のハンディキャップを出来る限り解消することにより、島民が幸せを実感できる社会の実現を目指す

【目指す姿】

【主な施策の概要】

【H27県予算要求額】
(百万円)

交通

- ① **全島民の船賃をバス並み運賃に軽減**
上記に加え、
乳幼児健診受診時・障がい者福祉施設通所時・高校生通学時は無料
- ② **生活航路の増便による通勤や通学の利便性向上**
- ③ **生活航路(三角・水俣)の維持確保**

- ① **全島民の定期船の運賃をバス並み運賃に、フェリー料金も約30%軽減**
【対象】定期航路(旅客船、フェリー)
上記に加え、
乳幼児健診の受診、障がい者の福祉施設への通所、高校生の通学に係る船賃は無料化
- ② **生活航路の便数(朝夕等)を増加**
御所浦－棚底(定期船の始発前(7:05)と終発後(18:05)の各4便(2往復)を追加)
御所浦－水俣(週3日(火/金/日)→週4日(火/金/土/日))
- ③ **三角・水俣への航路の維持確保を支援**
【対象航路】棚底－三角、御所浦－水俣

78

医療・福祉

- ① **平日夜間も医師が御所浦島に常駐**
- ② **利用しやすい診療所に改修**
- ③ **乳幼児健診受診時・障がい者福祉施設通所時の船賃は無料**

- ① 県による医師確保や研究手当等により、御所浦島に常勤医師を配置
- ② 御所浦診療所
御所浦北診療所
御所浦歯科診療所 } 医科・歯科用医療機器の購入及び施設の改修等
- ③ 乳幼児健診の受診、障がい者福祉施設への通所に要する船賃を無料化[再掲]

15

教育

- ① **自宅で様々な講義やレッスンが受講可能**
- ② **時間を気にせず部活動に参加可能**

- ① 高速通信網を整備することで、学習塾などの遠隔講座が視聴可能
- ② 島外の高校へ通学する際の船賃を無料化[再掲]
定期船(御所浦－棚底)の始発前(7:05)と終発後(18:05)の各4便を追加[再掲]

(7)

地域経済

- ① **空き家の活用で観光客と移住者が増加**
- ② **ジオパークの魅力で観光客が増加**
- ③ **絆を強める地域通貨を使い島内で買い物**
- ④ **島内・自宅での就業・起業チャンス拡大**

- ① 空き家を改修し移住・定住者を増やすとともに、民宿開業を支援
- ② 化石採取と島内クルージングを核とした観光の目玉づくり
- ③ 地域通貨を活用した地域づくりを推進
※ 上記3つの取組みを推進するためのリーダー役として地域おこし協力隊を派遣
- ④ 高速通信網の整備により、島民の生活環境を向上
・雇用創出(島内・自宅でのインターネットを活用した就業・起業の機会拡大)
・教育環境の向上(遠隔地で行われる講座が受講できる)[再掲]
・医療環境の向上(遠隔病院の検査結果等の医療情報の受信が可能になる)

21

お問い合わせ先

企画振興部地域振興課 横井、下山(内線:3528/直通:333-2181)

合計 114

※[]は再掲のため合計に含まれない